

科目名	社会科・地理歴史科教育法 Teaching Methods of Social Studies and Geography and History						
科目担当者	小野 創太 ONO Sota / 柴田 博子 SHIBATA Hiroko						
単位数	4	配当年次	3 年	授業形態	講義	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科 [専門教育科目 自由科目] 他学部他学科履修○					ディプロマポリシーとの関連	(5)(6)
授業の概要	前期は、中学校社会科の地理的分野と歴史的分野を扱う。学習指導要領を十分に理解した上で、社会科授業理論を踏まえた情報機器及び教材を活かした授業を設計し、学習指導案を作成して模擬授業を行う。 後期は、高等学校地理歴史科を扱う。学習指導要領を十分に理解した上で、地理・歴史教育論を踏まえた情報機器及び教材を活かした授業を設計し、学習指導案を作成して模擬授業を行う。						
授業の到達目標	①学習指導要領に示された中学校社会科（地理的分野・歴史的分野）と高等学校地理歴史科の目標や内容および社会科授業理論，地理・歴史教育論について理解する。 ②社会科授業理論，地理・歴史教育論を踏まえて単元を設計し、1 単位時間の学習指導案を作成して授業を行い、授業改善の視点を身に付ける。 ③学習指導案に基づいて、主体的・対話的で深い学びを重視した授業を展開する。						
授業計画・内容	1	オリエンテーション	16	高等学校地理歴史科の目標・内容および内容の取扱い			
	2	中学校社会科の目標・内容および内容の取扱い	17	地理教育論の類型と整理①（系統地理）			
	3	「地理的な見方・考え方」の理念と学習方略	18	地理教育論の類型と整理②（地誌学習）			
	4	「歴史的な見方・考え方」の理念と学習方略	19	地理教育論の類型と整理③（現代の地理的諸課題に関する学習）			
	5	社会科の方法原理①：問題解決	20	歴史教育論の類型と整理①（一次的概念および二次的概念の探究）			
	6	社会科の方法原理②：理解	21	歴史教育論の類型と整理②（史資料解釈）			
	7	社会科の方法原理③：説明	22	歴史教育論の類型と整理③（論争的歴史問題に関する学習）			
	8	社会科の方法原理④：議論	23	社会科における ICT 利活用			
	9	社会科の方法原理⑤：意思決定	24	コンピテンシー・ベースの社会科における評価方略			
	10	社会科の方法原理⑥：社会参加	25	地理総合の模擬授業の実施と振り返り			
	11	学習指導案の作成方法とその実践	26	地理探究の模擬授業の実施と振り返り			
	12	学習指導案の相互評価	27	歴史総合の模擬授業の実施と振り返り			
	13	地理的分野の模擬授業の実施と振り返り	28	日本史探究の模擬授業の実施と振り返り			
	14	歴史的分野の模擬授業の実施と振り返り	29	世界史探究の模擬授業の実施と振り返り			
	15	前期内容のまとめ	30	講義全体の総括と今後の課題の確認			
授業外学修 (事前学修)	模擬授業の教材研究（40 時間程度） 学習指導案の作成（40 時間程度） 講義内容の予習（40 時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	講義毎の小レポートを通した講義内容の復習（60 時間程度） 実施した授業の修正指導案の作成（60 時間程度）						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	講義毎の小レポート 学習指導案の作成，模擬授業 定期試験				30% 50% 20%		① ①②③ ①
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	『中学校学習指導要領解説・社会編』（文部科学省） 『高等学校学習指導要領解説・地理歴史編』（文部科学省） 『中学校社会地理的分野』『中学校社会歴史的分野』（日本文教出版） 『私たちの歴史総合』（清水書院） 『高等学校 新地理総合』（帝国書院） 『最新世界史図説タペストリー』（帝国書院）						

参考文献	『中学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領』（文部科学省） 『中学校社会科教育・高等学校地理歴史科教育』（学術図書出版社）、『社会科重要用語事典』（明治図書）
その他	学校見学に参加すること。